

## ●●BiVi 歯科クリニック

所在地 ● 埼玉県八潮市大字大瀬710-1 BiVi 八潮3F

総面積 ● 約100㎡ (約30坪)

ユニット ● 4台

スタッフ ● 歯科医師2名(常勤1名、非常勤1名)、歯科衛生士2名、歯科技工士1名、受付1名

患者数 ● 1日30~35名

診療時間 ● 9:30~13:00、14:30~19:30 土曜午後は14:00~18:00  
休診日 火・日・祝日



### 武川泰久

#### profile

1979年、埼玉県生まれ。  
2004年、明海大学歯学部卒。  
2006年、東京医科歯科大学咬合機能矯正学、う蝕制御学分野研修医修了。同年、都内の歯科医院に勤務、理事を歴任。  
2009年、埼玉県の矯正歯科医院に勤務。2013年、現在地で開業。

## 誠実かつ精密な診断をもとに、 オーダーメイドの治療を提供

### 研鑽を重ねた勤務医時代

秋葉原駅から約20分。つくばエクスプレスの開通で開けた八潮駅。南口から徒歩30秒のビルの3階に「BiVi 歯科クリニック」がある。院長の武川泰久先生は、大学卒業後、歯周病と矯正を学び、開業に備えた。

「大学4~5年生の担任だった申基結先生に憧れて、歯周病を学びたいと思いました。当時は研修医制度がなかったので、極端な話、卒業後すぐに開業できました。しかし、歯周病を専門とするためには、矯正を含めた包括

的な治療ができなければならないと指導を受け、卒業後は、東京医科歯科大学の研修医制度の2年間コースで、保存、外科、補綴、矯正を総合的に学び、基礎を培いました」

その後、大学院に進学するか迷ったそうだが、医療法人として開業する歯科医院に9年間勤務した。

「国際インプラント学会 (ICOI) 日本支部の副会長をされている先生のもとで、インプラントをはじめ、外科の基礎を丁寧に教えていただきました。また、医療法人の理事や分院長も経験し、医院経営やスタッフ教育を学ばせていただきました。その後、並行して矯正歯科で5年間勉強させていただいたことが、いまの私の大きな財産になっています」

研鑽を重ね、卒後10年目に開業した。武川先生は埼玉県大宮市(現・さいたま市)で生まれ、隣の越谷市の高校に通っていた。

「高校時代に越谷や草加に足を運ぶ機会があり、八潮という地名は知っていました。生まれたときから大学を卒業するまでのほとんどの時間を過ごしたので、開業するなら自分



▲「BiVi 歯科クリニック」が入居するBiVi 八潮。八潮駅南口の真正面にあり、アクセスは抜群



▲院内の見取り図

を育ててくれた地域でと思っていました。また、歯周病の専門医を目指し、将来は専門性の高い治療を提供したいと考えていたので、遠方からも通いやすいように駅前の開業が絶対条件でした。開業当時、周囲は何もない野原ばかりで不安でしたが、数年で周囲も開け、現在は多くの患者さんに来院していただいています」

一般歯科のほか、歯周病と矯正を掲げる。

「患者さんは0～80歳までと幅広いです。歯周治療と矯正治療を軸としているので、この2つに関しては地元のみならず、遠方からも来院していただいています」

### ● マイクロスコープで治療を「見える化」 ●

マイクロスコープ、レーザー治療器、CT、セファロX線、デジタルX線など最新設備を揃え、診療は個室で行う。

「すべての患者さんに歯科用マイクロスコープを導入し、高度で精密な治療を行うようにしています。マイクロスコープを使用すると、歯の微妙な色の変化や歯面のヒビ、1本1本の歯の形状や根管などをクリアに捉えることができます。治療精度が飛躍的に上がり、低侵襲治療を実現できます」

治療後には、治療内容の動画を見せながら



▲個室にはマイクロスコープとモニターを設置。患者とともに治療を確認できる

説明を行っている。

「患者さんには『すべてお見せします』と話しています。マイクロスコープで行った治療を録画し、治療後にマイクロスコープ下でどんな治療を行ったのか、その日の治療内容を確認していただいています。大きな画面に映すので、患者さんは自分の歯に興味深く見られますね。口頭のみでは説明しきれず、患者さんにも伝わらないことがたくさんあります。そのため、実際に見てもらったほうが理解していただけます。希望された方には録画映像のDVDをお渡ししています」

マイクロスコープを導入し、患者さんの意識にも変化が表れた。

「この間、『むし歯って削るんですね』と聞かれてびっくりしました(笑)。最初は相当な手間だと思ったのですが、患者さんの反応





▲内装のイメージは喫茶店。落ち着いた色遣いと間接照明が患者に安らぎを与える

や理解の早さが違います。以前は治療が終わったら、口を開けてもらい、鏡で見せて説明していたのですが、実際の映像を見せることで説明も短くなりました。また、嘘の治療は1つもない、恥ずかしい治療はしていないと証明にもなります。レストランでのオープンキッチンと同じイメージですね」

そのかわり、診療に時間はかかる。

「自費・保険とは関係なく、自分の治療をご理解いただくためのマイクロスコープだと思っています。しかし、人数を制限しないとすべてのケースに対応できないので、正直、保険診療がメインだと難しいです。保険でできる部分は保険で、自費のほうがメリットがある場合は自費をお勧めしています」

### オーダーメイドの治療を

院内は、ベージュとダークブラウンを基調とした落ち着いた空間。間接照明を用いて、喫茶店のような雰囲気になっている。

「歯科医院に見えない、喫茶店のようなリラックスできるイメージにしたいと考えました。白は清潔に見えますが、蛍光灯に白い壁、白衣はいかにも病院という感じで嫌でした。個室の廊下側をガラス張りにしたのは、マイクロスコープで精密な治療をしていることを見てもらうためです。患者さんのプライバシー

ーを確保するためにスモークがかかっている部分もありますが、変なことはしていないから全部見てよという気持ちです」

医院の規模を大きくしようとは考えていないという。

「経営では、大きくしすぎないことを重要視しています。自分の目が行き届く範囲がすべてだと思っているので、むしろユニットは減らしたいくらいです。マイクロスコープの恩恵を患者さん全員に受けていただきたいと思っていますが、規模を大きくすると人を雇わなければなりませんし、院長としてチェックもしなければなりません。分院展開が上手な先生もいますが、私は器用でないので難しいです。自分の能力を見極めたときに、患者さんの数を制限した完全予約制にして、マイクロスコープで“一人ひとりオーダーメイドの治療を”という経営スタイルになりました」

武川先生と歯科衛生士が二人三脚でオーダーメイドの治療を作り上げる。

「最低限のマニュアルはありますが、ガチガチに教育システムを作ってはいません。外部講師を呼んで年に何回かセミナーを行った。歯周病に関しては歯科衛生士とディスカッションをしたりしています。規模が大きければマニュアルがないと教育できないと思います。いまの規模であれば歯科衛生士と個々で話し合い、治療計画を立てていくことが可能です。また、私が患者さん全員とカウンセリングをし、ご理解いただいたうえで治療がスタートするので、スタッフが患者さんに治療に関して説明することはほとんどありません」

とはいえ、矯正や歯周治療にはスタッフの専門的な知識も必要になる。

「矯正や歯周病は専門性が高い治療ですが、その知識はもってくれています。患者さんからの矯正相談、歯周病相談などの電話が多いので、受付も歯科技工士も最低限のことは答えられるように練習したり、セミナーに参加しています。開院当初からのスタッフも残ってくれていますし、スタッフはみんな頑張ってくれています」

### 「専門性」の前にすべてができること

開業する若い先生へ、経験を踏まえてアドバイスを送る。

「医院経営はそんなに甘くないですね。自分がやりたいことをやるのは本当にたいへんで、自分の勉強だけでなく、スタッフ教育、マネジメントなど、いろいろなものが必要だと思います。考え方はさまざまですが、これからは普通のことだけをやっては絶対ダメですね。『従来の削って詰めての一般歯科だけでいきます』では、患者さんの多様化する要求に応えることも、現在の歯科の環境の変化に対応することもできず、経営が難しくなる時代だと思います。経営面はもちろんですが、これからは患者さん、スタッフすべてが幸せとなるために3つの目標を定めています」

目標の1つ目に、スタッフを大事に育成することを挙げる。

「患者さんを大事にして、よい治療をするのは当たり前です。私はスタッフを患者さんと同じように大事にしています。スタッフを大事にするには、スタッフ目線で考えなければなりません。休みを確保し、就業時間は当然守り、最終受付を早くしてプライベートの時間が取れるようにする。賞与や長期休暇な



▲保険・自費にかかわらず、ほぼすべての症例でマイクロスコープを用いる武川先生

ど福利厚生も整備する。スタッフのために何ができるか、何を提供できるか、常に考えています」

2つ目は、全般的な治療ができるように。3つ目は、専門性を身につけることだという。

「一般歯科だけではなくて、自分の好きな治療をするために得意分野の専門性を身につけることです。専門性を身につける前に、さまざまな治療を提供できるよう包括的な治療を一通りできるようにすること。日本には専門医制度がないので、すべてができないといけません。専門のみで開業するのはとても難しいので、専門性の前にすべての治療ができること、せめて知識と最低限の技術をもつようにすること。矯正も含めて何でもできることが大事ですね」

今後の抱負も、医院の専門性を高めることに重きを置く。

「歯周病や矯正の技術や知識がまだ足りないので、専門性をもっと高めていきたいです。専門性が強くなることは、医院も小さくしなければならぬと思います。歯周病と矯正に特化したシステムをつくり、歯周病と矯正で勝負する医院を目指したいと思います」

誠実で専門性の高い診療を目指す武川先生。若手の旗手として、今後も高みを目指して突き進んでいく。